

令和8年度 第2学年技術・家庭科(技術分野)年間指導計画・評価計画

月	単元名	時数	評価基準 (1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4 ～ 6	2 編 「生物育成の技術」 1 章 生物育成の技術の 原理・法則と仕組み 2 章 生物育成の技術に よる問題解決 3 章 社会の発展と生物 育成の技術	11	(1) ・生物育成の目的について理解できている。 ・生物育成の基本的な知識を持っている	定期考査 授業観察 学習プリント 等
			(2) ・生物育成の特徴について考え、まとめることができている。 ・生物育成の技術の知識を活用して選択の判断をすることができる	
			(3) ・積極的に生物育成の目的を考え、関わろうとしている。 ・学習を通して得た知識や考え方をもとに身の回りの見方に活用することができる	
7 ～ 1	3 編 「エネルギー変換の技術」 1 章 エネルギー変換の技術 の原理・法則と仕組み 2 章 ・エネルギー変換の技術 による問題解決 1 ・エネルギー変換の技術 による問題解決 3 章 社会の発展とエネルギー 変換の技術	17	(1) ・身の周りのエネルギーについて理解し、変換技術によって生活と結び ついていることを適切に理解している。 ・問題解決のための製作として知識が身に付いている。	定期考査 授業観察 学習プリント 作品 等
			(2) ・生活とエネルギーを結びつけ、問題点や解決方法などに向け、自分の 考えを持って適切な行動に結び付けている。 ・自ら考え、適切な判断で製作ができている。 ・エネルギー変換の技術の歯数と力の関係について考えることができ る。	
			(3) ・身近なエネルギーについて考え、知識として持っていることだけでなく 他者の知識からも新しい知識として得ようとしている。 ・個々の課題に沿った仕組みを利用しようとしている	
2.3	4 編 「情報の技術」 1 章 情報の技術の原理・ 法則と仕組み	7	(1) ・情報機器を構成する仕組みが理解できている ・情報をデジタル化する考え方が理解できている。 ・通信ネットワークの仕組みを理解できている	授業観察 実技テスト 学習プリント 等
			(2) ・情報機器の技術の発達(変化)を理解し、その技術によって生活や 社会の変化を考えることができる。 ・情報の特性を理解し、その長所、短所を考えることができている	
			(3) ・学習を通して知りえた知識をデジタル機器の正しい管理・活用へと 活かすことができている。	
	3 章 計測・制御のプログラム		(1) ・フローチャートによる思考整理ができる。 ・フローチャートによるプログラミングができる。	
	1 計測・制御のシステム 2 課題解決のプログラム 製作		(2) ・グループ学習の中でも自分の考えを持ち、的確な役割分担を考え て、学習を考え、協力しながら進めることができている。 (3) ・グループでの学習活動に積極的に参加し、自分の役割をしっかりと 果たすことができている。	